

## 今週のビルマのニュース 2011年7月29日(1126号)

### スーチー氏が停戦を呼びかけ 環境破壊の状況 ビルマの若手党員が訪日

#### 【ビルマ国内・国際関係】

- ・ビルマ(ミャンマー)北部や東部で断続的に戦闘が続いている。民主化運動指導者アウンサンスーチー氏は28日、政府とカチン、シャン、カレン、モン各民族の武装勢力に宛てて公開書簡を出し、即時停戦と紛争の平和的解決を呼びかけ、協力を申し出た。(公開書簡の非公式英語訳)
- ・アウンサンスーチー氏は25日、政府からの要請に応じ、ラングーン(ヤンゴン)でアウンチー労相と会談した。氏と政府代表との公式会談は初めて(25日BBCほか)。労相は07年10月に氏との連絡役に任命されて以降、自宅軟禁下のスーチー氏と何度も会談しているが、そうした会談が実質的な進展につながったことはない。このため今回の会談も、制裁解除やASEAN議長国就任を狙う政府側の演出だという見方が大勢。
- ・松本外相は26日の会見で「[ASEAN関連会合での参加各国のビルマに対する評価について]総選挙・民政移管の評価が全くゼロだという国は必ずしも大勢ではないのではないか。[日本が]そんなに異なった方向の判断をしているとは理解していない」と述べた。またビルマへの支援については「人的交流は既に一部始まっている。[ビルマの]複数の政党の若い党員が日本を訪問して、既に帰国した」と。(26日外務省)

#### 【政府開発援助(ODA)】

- ・新たな発表はなし。

#### 【注目アイテム】

- ・「ミャンマー北部で続く戦闘、避難民1万6,000人に 長期的な食糧不足への懸念も」(23日アジアプレス経由 Yahoo!Japan) <http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20110723-00000000-asiap-int>
- ・ビルマ環境作業部会(BEWG=少数民族の環境保護団体の連合)が報告書を発表(25日)。乱暴な資源開発や武力紛争によって、ビルマの豊かな自然環境が急速に破壊されていると指摘。  
<http://www.bewg.org/en/component/content/article/61-launch/88-be-ppp>
- ・カレン環境社会行動ネットワーク(KESAN)がカレン州の野生動物保護区域でのゾウの生息状況について調査報告書を発表(25日)。個体数が激減している模様。  
<http://www.ksan.asia/Campaign/Kesan-Report-Finds-Endangered-Elephants-Need-Protection.html>
- ・08年5月襲来のサイクロンによる被災者に対する国連及び米政府機関による援助について、米国会計検査院(GAO)が評価報告書を発表(26日)。援助のモニタリング方法を改善するべきと勧告。  
<http://www.gao.gov/products/GAO-11-700>
- ・シャン州東部モンコクでのタイ向け石炭開発及び発電所建設計画について、環境汚染などの影響を受ける周辺住民が反対運動を開始。懸念などをまとめた資料を発表(21日) : <http://www.shanland.org>
- ・収容されているお笑い芸人ザガナーについてのドキュメンタリー映画「This Prison Where I Live」の紹介(動画、約8分、Asia Down Under) <http://www.youtube.com/asiadownunder#p/c/2/HzUqRzIEwpQ>

#### 【イベント情報】( [ ] 内は主催者。共催等は省略)

- ・[アムネスティ福島グループ結成準備委員会]ドキュメンタリー『ピュア 希望の鐘』上映・講演会(チェンバおおまち3階福島市市民活動サポートセンターA1会議室、30日13時半~15時)
- ・[国民民主連盟(解放地域)日本支部]ディペイン虐殺事件から98ヶ月一軍事政権に国民和解のための対話を求める抗議行動(品川・在日ビルマ大使館前、30日15~16時)

もっと詳しい情報・お問い合わせは  
ビルマ情報ネットワーク <http://www.burmainfo.org>